

# 取扱説明書

## エアフィルタ

型番号：BN - 27T5H - 8A、10A、15A（マニュアルドレン式）

安全にお使い頂くために、ご使用前に必ずお読みください。

### 安全に使うための表示

使用、保守、点検、分解前に、次の表示や図記号の意味をよくご理解の上、ご使用ください。

表示

表示の意味



「取扱を誤った場合に人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。

危険



「取扱を誤った場合に危険な状況が起こり、人が障害を負う可能性、または物的障害が発生する可能性があること」を示します。

注意

図記号

図記号の意味



「特定の条件において破裂の可能性があるあり、注意を要すること」を示します。



### 安全上の注意事項



- ・使用圧力は、1.5 MPa 以下で使用してください。
- ・使用温度は、5 ~ 60 の範囲を守ってください。
- ・取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気避けてください。
- ・保守・点検する場合は、必ず圧力を抜いてから行ってください。
- ・人体に直接吸引する呼吸器系の装置には、使用しないでください。
- ・部品を取り外して他の機器に使用したり、指定以外の部品は使用しないでください。

## 1. 構造

エアフィルタに入った空気は、デフレクタによってサイクロン流れとなり、大きな水滴や異物はケースの内壁に集まり、壁面を伝わってケース底部に溜まります。水滴や異物が除去された空気は、エレメントを通過しさらにろ過されて出口側より流出します。

エレメント下部のバッフルは、ケース底部に溜まったドレンが巻き上げられるのを防止します。

空気と分離されたドレンは、マニュアルドレンバルブの操作で外部へ排出されます。

## 2. 使用・取付について



使用時の注意



- ・使用圧力は、1.5 MPa以下で使用してください。
- ・使用温度は、5～60 の範囲を守ってください。
- ・取付場所は、直射日光や有機溶剤の雰囲気 avoiding してください。

## 3. 仕様

呼び口径	8 A	10 A	15 A
配管接続口	Rc 1 / 4	Rc 3 / 8	Rc 1 / 2
使用流体	空気		
使用圧力	0.05～1.5 MPa		
耐圧力	2.25 MPa		
周囲温度	5～60		
ろ過度	5 μ		
流量	1.8m <sup>3</sup> /min(ANR)	2.8m <sup>3</sup> /min(ANR)	3.5m <sup>3</sup> /min(ANR)
質量	0.5 kg		

流量は、入口圧力1.4 MPa、差圧0.03 MPaの時の流量です。

## 4. 取付

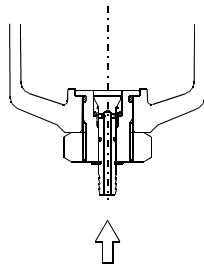
- 4.1 取付方向は、ボディ部にある矢印の方向に空気が流れるようにしてください。
- 4.2 取付姿勢は、必ずドレン排出口が下になるようにしてください。
- 4.3 機器の配管前には、配管材内部を十分にフラッシングを行なって、異物やシールテープ破片などが入らないようにしてください。
- 4.4 保守点検や、ドレン排出が行えるように、周囲に余裕空間を設けてください。

## 5. ドレン排出（マニュアル式）

ケース内に溜まったドレンは、定期的にドレンバルブを操作して排出してください。

ドレンが溜まり過ぎるとライン内に流出し、除湿機能の低下や、他の機器の作動不良原因となりますので注意してください。

ドレン排出操作は、ドレンバルブを押し上げます。また、ラインの空気圧が0.05 MPa以下の場合にドレンバルブが開き、ドレンが排出する機構になっています。



## 6. その他の注意事項



その他の注意



- ・製品を落とさないこと。また、当てたり、叩かないようにしてください。
- ・人体に直接吸引する呼吸器系の装置には、使用しないでください。

このエアフィルタは、空気圧ライン中の水分、配管中の錆や異物などを取り除くためのものです。空気以外の流体での使用は避けてください。

## 7. 保守点検



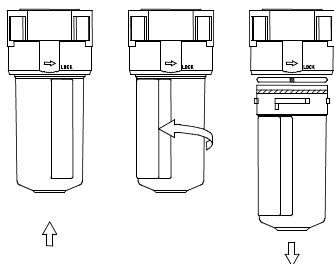
保守点検時の注意



- ・分解する時は、必ず機器と配管内の圧力を抜いてから行ってください。圧力が残っていると勢いよく漏れ出し、部品が飛び出す危険があります。
- ・ケース組立時は、LOCK（右）の方向へ止まるまで回転させてください。途中で止めたままにしておくと、ケースが外れて危険です。

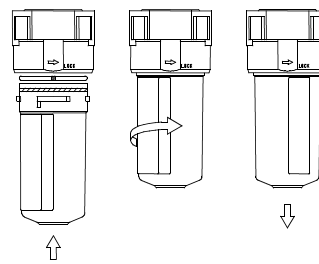
## ケース分解

ケースを押し上げながら、左方向へ30°回転させて引き抜きます。



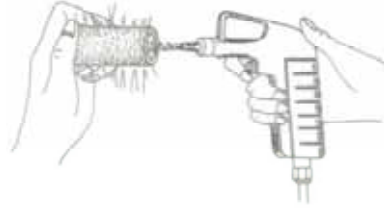
## ケース組立

ケースを押しながら、LOCK（右）方向へ止まるまで回転させてから、下げます。



## 8. エレメント保守

エアフィルタの入口圧力と出口圧力との差が0.07MPa程度になると、分解してエレメントを洗浄してください。エレメントはひどい汚れでない限り、清掃・洗浄すると再使用が可能です。空気流路は、エレメントの外側から内側に入ってる過されますので、洗浄後内側から外側へ向けてエアブローをしてください。



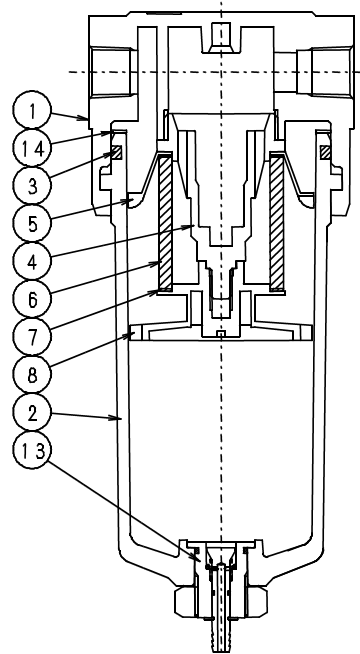
## 9. 部品洗浄

中性洗剤を使用し、清掃・洗浄してください。

## 10. トラブル対策

トラブル現象	原因	対策
圧力降下の増大	エレメントの目詰り	エレメントの洗浄または交換
出口側よりドレンが出てくる	ドレンのオーバフロー	ドレンを排出
出口側より異物が出てくる	エレメントの破損	エレメントの交換
外部へのエア漏	ガスケットのシール不良	ガスケットの交換

## 1 1 . 部品名称



1	ボディ	2	ケース
3	ケースガスケット	4	バルブサポート
5	デフレクタ	6	エレメント
7	エレメントガスケット	8	バッフル
13	マニュアルドレンASSY	14	クランプリングバネ